

第 55 回九州地区医師会立共同利用施設 連絡協議会

理事 久貝 忠男



第 55 回九州地区医師会立共同利用施設連絡協議会 日程表

会期：令和 6 年 7 月 6 日（土）・7 日（日）
場所：ホテル日航熊本

連絡協議会会長 園田 寛（熊本市医師会会長）
連絡協議会実行委員長 宮本 大典（熊本市医師会副会長）

（1 日目） 7 月 6 日（土）

受付 5 階 ホワイエ
各部門管理者会（医師会病院部門） 5 階 阿蘇 BC
各部門管理者会（検査・検診部門） 5 階 天草 BC
各部門管理者会（高齢社会事業部門） 5 階 阿蘇 D
分科会司会・演者・座長打合わせ

6 階 会議室梅（第 1 分科会）
桃（第 2 分科会）
藤（第 3 分科会）

第 1 分科会（医師会病院部門） 5 階 阿蘇 BC
第 2 分科会（検査・検診部門） 5 階 天草 BC
第 3 分科会（高齢社会事業部門） 5 階 阿蘇 D
懇親会 5 階 阿蘇

（2 日目） 7 月 7 日（日）

5 階 阿蘇

特別講演 I

演題 「医療を取り巻く最近の動向と日本医師会」
講師 日本医師会 会長 松本 吉郎 先生

特別講演 II

演題 「新千円札肖像画に選ばれた
北里柴三郎のひととなり」
講師 北里柴三郎記念館 館長 北里 英郎 先生

閉会

令和 6 年 7 月 6 日（土）、7（日）の 2 日間、
第 55 回九州地区医師会立共同利用施設連絡協
議会が熊本県のホテル日航熊本で開催された。

1 日目：第 1 分科会（医師会病院部門）

印象に残った演題を紹介する。

1) 待ち時間対策：

熊本地域医療センターは熊本市からの委託事
業で、休日夜間急患センターを運営している。
働き方改革や人員確保の難しさから夜間診療が
制限されることとなり、特に年末年始の混雑時
には大変な待ち時間（5～6 時間、最大で 10
時間）が発生し、患者さんや家族からのクレ
ームが絶えない状況だった。

待ち時間対策として待ち時間表示のシステ
ムを自作し、各診察室で看護師がタブレット端
末を使って簡単に操作できるようにした。HP、
スマホで閲覧し、ほぼリアルタイムで待ち時
間の表示を可能とした。この改善により、診
療の順番や待ち時間の問い合わせが減り、業
務が効率化された。高齢者にも利用可能とな
っている。これからの病院運営にも求められ
ていると考える。

2) 看護業務の効率化による働き続けられる職場づくり

同じく熊本地域医療センターからの発表で、離職の悪循環を断ち切るために「3本の矢」の取り組みを紹介。これの発表は「2019年の看護業務の効率化先進事例アワード」の最優秀賞を受賞している。

1の矢：ユニホーム2色制：ナッジ効果でDrからの声掛けも減った

2の矢：ポリバレンタース：オールラウンダーとかユーティリティとは違い、どの病棟の業務にも対応できた

3の矢：ウオーキングカンファレンス：ベッドサイド引継ぎ。始業前時間外業務を廃止したセル方式➡3つのムダ取り：動線のムダ取り、記録のムダ取り、配置のムダ取り
さらに、

4の矢：業務進捗管理表：病棟間での業務の偏りをなくす。進捗状況を把握して応援ナースの優先順位をつける

2日目：特別講演

(1) 松本吉郎日本医師会長

「これからの医療と医師会共同利用施設」

松本執行部2期目スタートで医師会運営の4つの柱を立てた。

(1) 地域から中央へ：今後も現場との連携を深めるため、引き続き地域医師会と緊密な連携を図る。

(2) さらなる信頼を得られる医師会へ：発熱外来等で患者さんをしっかり診て、国民・患

者からの更なる信頼獲得につなげる。

(3) 医師の期待に応える医師会へ：物価高騰や賃金上昇も喫緊の課題で診療報酬のみならず補助金や税制措置などあらゆる選択肢を含め今後も医療施策の提言と実行していく。

(4) 一致団結する強い医師会へ：日医、県、郡市区医師会等が一体となって好事例等を共有しながら医師会員であることを実感できる取り組みを積極的に進める。

以上、強い意気込みを感じた。

(2) 北里柴三郎記念館 館長 北里英郎先生

「新千円札肖像画に選ばれた北里柴三郎のひととなり」

北里柴三郎は最初から医者志望ではなく、とりあえず熊本医学校に入学。そこで出会ったマンスフェルト先生のもとで細菌学に目覚めたらしい。ドイツ留学で細菌学の父R. コッホに師事し数々の素晴らしい成果をあげて帰国したが、東大との確執があり活躍の場が与えられなかった。そんな彼を物心両面で援助したのが福沢諭吉である。福沢は中津藩であったが、柴三郎の故郷小国町は熊本の北端で方言が中津藩に近く親しみを感じたことも一因であったらしい。今の慶応義塾大学医学部の創設に関わっていたのは知っていたが、お互いを認め合っていたからこそであったのであろう。職員にドンネル（雷）を落とし、口癖は「莫迦者！」だったらしい。しかし部下の怠慢や失策は厳しく叱責するが、外部に対しては必ず自らが責任を負ったという。

第1分科会（医師会病院部門）

日時：令和6年7月6日（土）16：00～18：00 座 長：熊本市医師会 副会長 宮本 大典
場所：ホテル日航熊本 5階 阿蘇BC 司会・進行：熊本市医師会 理 事 鶴田 克家

テーマ	発言施設	発言発表者
休日夜間急患センターの待ち時間表示について	熊本市医師会	熊本地域医療センター 内科系診療部長 救急科部長 平井 信孝
看護業務の効率化による働き続けられる職場づくり		熊本地域医療センター 認定看護管理者 看護部長 吉田 節子
令和6年能登半島地震 DMAT 派遣を終えて	朝倉医師会	朝倉医師会病院 看護主任 草場 昂
心不全診療におけるタスクシフティング・タスクシェアリング・地域連携への取り組み	宮崎市郡医師	宮崎市郡医師会病院 循環器内科 部長 西平 賢作